

福島医療生協の
現 況

(2025年10月1日時点)

組 合 員

28,115名

出 資 金

880,649,000円

一 人 平 均

31,323円

ふくしま



発行所
福島医療生協

2025年11月号 第459号
発行責任者 山口 裕
<http://www.watari-hp.jp/>

福島医療生活協同組合
医療生協わたり病院
生協いいの診療所
医療生協わたり病院附属
ふれあいクリニックさくらみず

TEL 024-522-1236
TEL 024-521-2056
TEL 024-562-4120
TEL 024-559-2664

〒960-8141
〒960-8141
〒960-1301
〒960-0241

福島市渡利字中江町66
福島市渡利字中江町34
福島市飯野町字後川27-2
福島市笹谷字塗谷地20-1

医療生協

中央支部で、いちい信夫ヶ丘店にて健康チェックを行いました。来店客の方に声をかけ、18人の血圧や骨密度、体組成を測定しました。来月以降も継続して実施したいと考えています。



看護師による健康アドバイス

10/7
まちかど健康チェック

10月1日からスタートした生協強化月間での、組合員さんの活動をご紹介します。

生協強化月間



地域の方と楽しくお話しできました

10/12
地域訪問

杉妻支部で鳥谷地域を二斉訪問しました。医療生協の紹介や班会のお誘い、困りごとがないか等をうかがいました。

10/18

ふれあいクリニック

さくらみず健康まつり

北ブロック*合同の健康まつりが開催されました。支部ごとに出店し、野菜やくだもの、わたあめの他、衣料品や雑貨等、いろいろなものが並びました。職員による健康チェックや齋藤紀所長の健康相談とじゃんけん大会もあり盛り上がりしました。健康まつりは、秋晴れの空の下、約300名の来場者で賑わいました。

※北ブロック
東、飯坂、平野余目、大笹生笹谷、清水北、清水南支部

北ブロックと杉妻支部
わたり福祉会、ぷらんとん
薬局も出店し大盛況でした



齋藤紀所長による署名の呼びかけ

わたり病院開院

50周年によせて

医療生協わたり病院 院長 北條 徹ほうじょう ととる

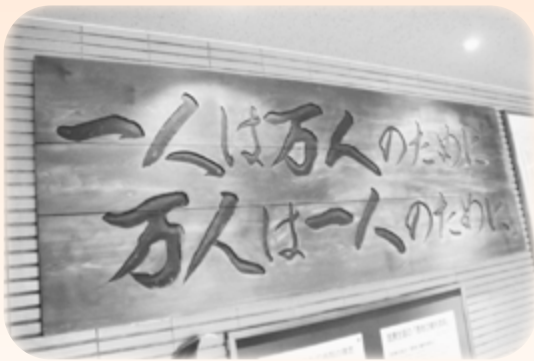
わたり病院の玄関に「一人は万人のために、万人は一人のために」と書かれた額が掲げられています。開院以来、私たちの病院が地域のみなさんの協同によって運営されていること、医療・介護の現場で働く職員も、またこうした地域の一人として互いに支えあっているという願いが込められています。

当院が開院したのは、1975年（昭和50年）10月13日でした。このころは高度経済成長によって都市の人口が増えており、病院や保育所を必要とする国民の要求がたいへん高まっていました。1973年のオイルショックで、成長に陰りが見えてきた時期です。この時期は、70歳以上の高齢者の医療費は無料、私たちが加入している被用者保険（社会保険）も本人の医療費負担は無料でした。1973年は、政府自らが「福祉元年」というほど、福祉

が向上した時期でした。しかし、その後は医療にお金をかけることは財政を圧迫するとされ、さまざまな形で国民負担が増やされ、今に至っています。現在、医療費の負担、社会保険料の負担はみなさんの生活に重くのしかかっています。同時に、医療・介護の経営もたいへん厳

しい時代になってきました。いつでも誰もが安心してかかることのできる医療を実現するために、これからも患者・組合員のみなさんと共に歩んでまいります。次の10年でさらなる発展を実現していきましょう。よろしくお願い申し上げます。

生協の理念



一人は万人のために
万人は一人のために

わたり病院玄関に掲げてあります

職員の活躍

全国第3位!!



全国で働く民医連職員のスポーツ企画「全国フットサル交流会in大阪」が開催され、福島県代表チームは、全国第3位に入賞しました。当生協からは4名の選手が出場しました。

緊急署名
12月末
まで!

署名のお願い

ある日突然に病院がなくなる!

現在『地域住民の医療を受ける権利を保障するために医療機関の維持・存続への支援を求める請願署名』を行っています。日本医師会をはじめとする6病院団体は、物価上昇分を反映した医療報酬改定がなければ、病院経営が立ちゆかなくなり、すでに地域医療崩壊寸前と警鐘を鳴らしています。しかし、地域住民や患者さんのみなさんにはまだまだ知られていません。この問題の深刻さに比べ、十分に報道

されていない現状もあります。全日本民主医療機関連合会は、政府に対して緊急の財政措置を講じ、地域における医療の維持・存続を図るよう訴える「100万人署名」を呼びかけています。私たち福島医療生協も共通の困難に直面しており、この100万人署名に全力をあげています。この署名の趣旨をご理解いただき、多くのみなさんに協力いただけますようお願い申し上げます。

※来年1月に国会へ提出



SDGs を考えよう

やながわ工業団地内で進められている



バイオマス発電の問題点

梁川地区 引地 勲

伊達市梁川町の工業団地内で産業廃棄物を燃料とする発電所建設が進められています。2018年1月に群馬県の産業廃棄物処理業者がやながわ工業団地内に土地を購入して、産業廃棄物中間処理施設(後に撤回)と発電所施設を建設するという計画がスタートしました。

工業団地内の企業や周辺の住民に対して一切の説明もないまま、伊達市行政と相談し事を進めており、2020年5月には東北経済産業局から事業認定を受けていました。地域住民がこれを知ったのは、事業者の敷地内に物資等が運び込まれた2020年7月頃です。この時に周辺住民の一部に対して口頭による説明会が行われ、計画が初めて住民に知らされたのです。次第に地域住民の不安は大きく広がり、伊達市も事業者に対して住民説明会を開くように要請、事業者はやつと重い腰を上げ、2021年3月に説明会を開催しました。

その説明会で、事業者側の誠

意のない態度、発電所に対する多くの問題点が明らかになりました。すぐに「梁川地域市民のくらしと命を守る会」が結成され、白紙撤回に向けた住民運動が開始されました。9,000余筆の署名をもとに、各関係機関に対して陳情・要望活動を行ってきました。しかし、国が認めた「事業認定許可」は覆すことは出来ず、まもなく商業運転が開始されようとしています。

なぜ、地域住民が反対しているのか。問題点は次のようなものです。

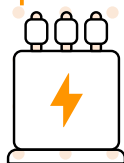
- ① 地下水への影響…1日あたり約2,500トンの大量な地下水取水による周辺への影響。
- ② 水質汚染…公共排水路への35℃～40℃の温排水の排出。
- ③ 大気汚染…廃プラスチックを燃焼することによるダイオキシン類発生懸念。
- ④ 交通公害…1日あたり大型特殊トラック30～40台に及ぶ廃棄物運搬による交通への影響。



バイオパワーふくしま発電所の煙突、試験運転中でも茶褐色(2025.5.18撮影)

- ⑤ 放射性物質の再拡散リスク…廃棄物の由来が不明確なことによる、放射性物質の再拡散に対する懸念。
- ⑥ 燃料の定義…産業廃棄物を「有価物」として扱うという県の判断への疑問。
- ⑦ 事業者の姿勢…法令順守に対する事業者の不誠実さ。

ぜひ、私たちの運動に、ご支援とご協力をお願いいたします。



福島医療生協オリジナル

健康かるた

完成しました



健康づくり委員会を中心に製作を進めていた福島医療生協オリジナルの健康かるたが完成しました。支部で協力しあつて、絵札の絵を描き、読み札を考え、健康メモも付けました。支部の新年会や班会などでぜひ活用して、みんなで健康になりましょう！



札を1枚1枚ラミネート

すこしお
レシピスパイシーな風味で
パクパク食べられる揚げ焼き
かぼちゃの
カレー風味

材料 (2人分)

かぼちゃ …………… 250g
サラダ油 …………… 大さじ4a { 塩 …… 小さじ1/3
カレー粉 …… 小さじ1管理栄養士さんの
すこしおワンポイント皮に食物繊維が多く
含まれています。
皮ごと食べましょう。

作り方

- ①かぼちゃは種とわたを除いて2cm角に切り、皮をとところどころむく。
- ②直径約20cmのフライパンに①を皮を下にして並べ入れ、油をふる。
- ③中火にかけ、油がふつふつとしてきたら、ころがしながら10分ほど揚げ焼きにする。
- ④油をよくきり、aをふって混ぜる。

塩分
0.8g

1人分198kcal

7/30

朗読と音楽

理事
川崎三枝子
かわさき みえこ

朗読と音楽の贈り物が杉妻学習センターで過日行われました。美しいピアノの演奏と共に語られる朗読の素晴らしさに聞きほれました。演題は「炎は消えず、瓜生岩子物語」です。

福島市田沢にある愛育園は瓜生岩子が設立したと知っていましたが、喜多方出身の岩子が社会福祉の言葉すら誰も知らない時代に、あらゆる困難を乗り越えて切り開いたその功績を、この朗読であらためて知

にほんまつ千比呂さんの朗読は、瓜生岩子の真つ直ぐな心情をその声のせてまるで本人が語るように表現されていて、とても心に響きました。朗読のあとは大宮妙子さんのピアノのせて「手のひらを太陽に」などを合唱しました。

暑い最中でしたがホールには約40名が参加し、感動を共有しました。

／ちょっと／

おす
すめの本トットちゃんの
15つぶのだいず

講談社

黒柳徹子(原案)
柏葉幸子(文)
松本春野(絵)

組合員活動部 佐藤綾子
佐とう あやこ
小学校2年生のトットちゃんが体験した戦争のお話です。

『安心で、うれしかった毎日』が、食べるものがなくなり、いろいろなものがなくなり、大事なパパもいなくなり

トットちゃんのうれしかった毎日の思い出に、ともえ学園の楽しいお弁当の回想がありました。読んでいるだけでも温かい穏やかな時間に幸せが溢れていました。しかし、度重なる空襲で町は赤く焼

かれ、トットちゃんの1日の食べ物15つぶのだいずに二変しました。小さいこどもがやせ細り弱っていく様を想像すると、戦争の理不尽さに怒りを感じるとともに目頭が熱くなりました。

黒柳徹子さんは、幼少期の辛く悲しい戦争体験から『平和』の大切さを説いています。今だからこそ、多くのみなさんにこの絵本を読んでもいただき『平和』について家族みんなで話し合ってほしいと思います。

※先日、にほんまつ千比呂さんがお亡くなりになりました。心よりご冥福をお祈りいたします。



にほんまつさんと大宮さんからたくさんの贈り物をいただきました。感動をありがとうございます。

無料 法律相談会

- 日 時／11月14日(金)、12月10日(水)
13時30分から15時30分
※日時は変更になる場合があります。
- 場 所／福島医療生協わたり病院内
電話申込制 TEL.522-1236
- 相談員／あぶくま法律事務所弁護士

INFORMATION

生協強化月間 ニコニコ集会

- ◆日 時／12月15日(土) 9:30～12:00
- ◆場 所／ラコバふくしま5F会議室
- ◆概 要／学習講演「新しい認知症観(仮)」・他

福島医療生協機関紙

福島医療生協の機関紙は、QRコードを読み取ることでホームページ上でもご覧いただけます。



組合員活動部LINE紹介

日々の活動、様々な情報を紹介しています。
友だち追加はこちらから

